

# 一般財団法人 語学教育研究所主催 2022 年度オンライン講習会のご案内

このプログラムは随時更新しますので、ウェブサイト (irlt.or.jp) でご確認の上お申し込みください。すべて zoom によるオンライン講座です。日程順に通し番号がついていますが、このほかに現在企画中の講座があり、今後追加や順序変更等で番号が変更になることがありますのでご注意ください。

【型づくり】の記載があるものは、当研究所が昨年度発刊した『英語授業の「型」づくり—おさえおきたい指導の基本』（大修館書店）の著者による講座です。書籍とあわせて受講されることをおすすめします。



**申込み：**語研ウェブサイトの「講習会」から、各回のフォームに必要事項を入力してください。

<https://www.irlt.or.jp/>

参加費の入金が確認できましたら zoom のミーティング情報をお送りいたします。

**参加費：**会員 1,000 円 一般 3,000 円（学生はそれぞれ半額。当日学生証を提示してください。）

	月 日	時 間	内 容	講 師
①	4月29日(金)	10:00-11:30	【型づくり】英語授業「型」づくりの基礎・基本【総論】	小菅 和也
②	5月7日(土)	14:00-15:30	【型づくり】高校・導入から活動へ	矢田 理世
③	5月21日(土)	13:30-15:30	子どもに聞かせる音の大切さ、及び子どもが英語の音を作るとき指導について	相田真喜子 久埜百合
④	5月21日(土)	16:30-18:00	【型づくり】音読から話す活動へ	淡路 佳昌
⑤	5月22日(日)	10:00-11:30	学びのユニバーサルデザインと多重知能理論を生かした英語授業を考える	草間 浩一
⑥	6月4日(土)	13:30-15:30	「話すこと」と「読むこと」をつなぐ指導 ～「読める」ようになると、英語のルールが見えてくる	久埜 百合
⑦	6月11日(土)	14:00-16:00	英語の発音と発音指導を見直す(1)ーリズムと音連結を中心にー	小菅 和也
⑧	6月18日(土)	14:00-16:00	英語の発音と発音指導を見直す(2) 一個々の音素を中心にー	小菅 和也
⑨	7月23日(土)	10:00-11:30	【型づくり】中学・新教材の導入	大内 由香里
⑩	7月23日(土)	13:00-14:30	【型づくり】中学・アクティビティ	小菅 敦子
⑪	7月24日(日)	10:00-11:30	オーラルメソッドによるCLIL	山崎 勝
⑫	7月24日(日)	13:00-15:00	PowerPoint入門—授業で使ってみようという方達に向けて	草間 浩一
⑬	7月25日(月)	18:00-20:00	【型づくり】英語の手書き文字の教え方—小学校で・中学校で—	手島 良
⑭	7月28日(木)	18:00-20:00	【型づくり】フォニックス活用法—英語の綴りの教え方—	手島 良
⑮	7月30日(土)	10:00-11:30	力のつく教科書本文の扱い方と音読再考	久保野 りえ
⑯	7月30日(土)	13:30-15:00	中学校：目的や使用場面を大切に言語材料の導入から発表活動まで	栖原 昂
⑰	7月31日(日)	10:00-11:30	一人一台iPad環境を生かした英語授業を考える	草間 浩一
⑱	8月2日(火)	10:00-11:30	意味を正しくとらえて優しく伝えよう	砂谷 恒夫
⑲	8月20日(土)	10:00-11:30	題材内容を中心とした授業導入	浅野 伸子
⑳	8月20日(土)	13:00-14:30	高校英語：教科書中心で4技能を伸ばす授業の進め方	吉田 章人
㉑	8月21日(日)	13:30-15:30	小学校英語教育で大切にしたいこと、基礎基本 ～語研ブックレット3『小学校英語1』から考える～	永井 淳子 松原 木乃実
㉒	8月27日(土)	13:30-15:00	【型づくり】高校・導入から活動へ	矢田 理世
㉓	8月28日(日)	13:00-15:00	Google スライドで“show and tell”を楽しもう～Oral Introductionへのヒント～	八宮 孝夫
㉔	9月11日(日)	10:00-11:30	聞く・読む技能のジャンル準拠教授法	松沢 伸二
㉕	9月25日(日)	13:00-14:30	対面でもオンラインでもできる発音指導	静 哲人
㉖	10月30日(日)	14:00-15:30	題材内容を中心とした授業導入	浅野 伸子
㉗	12月4日(日)	10:00-11:30	教科書内容を使ったディベートの授業	日高 由美子
㉘	12月4日(日)	13:30-15:00	ここから始めよう！ライティング指導	馬場 千秋

次ページにつづく

	月 日	時 間	内 容	講 師
②⑨	1月15日(日)	10:00-11:30	良い授業ができる「自律的指導者」とは～指導を支える6つのポイント～	入江 潤
③⑩	1月21日(土)	10:00-11:30	【型づくり】英語授業「型」づくりの基礎・基本【総論】	小菅 和也
③⑪	1月22日(日)	10:00-11:30	【型づくり】中学・新教材の導入	大内由香里
③⑫	1月22日(日)	13:00-14:30	【型づくり】中学・アクティビティ	小菅 敦子
③⑬	1月29日(日)	10:00-11:30	教科書から対話を導き出す発問【初任者向け】	杉内 光成
③⑭	2月5日(日)	10:00-12:00	英語の発音と発音指導を見直す(1)ーリズムと音連結を中心にー	小菅 和也
③⑮	2月12日(日)	10:00-12:00	英語の発音と発音指導を見直す(2)ー個々の音素を中心にー	小菅 和也
③⑯	2月26日(日)	10:00-12:00	発表活動のための教科書導入方法	曾根 典夫
③⑰	3月18日(土)	13:00-15:00	中学校の先生に知ってほしい小学校英語	粕谷 恭子
③⑱	3月26日(日)	10:00-11:30	導入(題材内容中心)	山崎 勝

## 講座内容詳細

### ①【型づくり】英語授業「型」づくりの基礎・基本【総論】 4月29日(金祝) 10:00～11:30

講師：小菅 和也(武蔵野大学名誉教授)

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、英語授業の基礎・基本について考えます。「型」づくりの総論・概論にあたる講座です。語研が提唱するOral Introductionを核とした授業の「型」の裏にある「こころ」(考え方や発想)にも焦点を当てて、議論を進める予定です。

### ②【型づくり】高校・導入から活動へ 5月7日(土) 14:00～15:30

講師：矢田 理世(筑波大学附属高等学校)

高校の授業における様々な「発表活動」を具体的に紹介するとともに、これらの活動をゴールとして逆算して授業を組み立てることの大切さをお伝えします。具体的な指導手順や留意点、時間配分などを紹介しながら、授業構成のポイントを提案します。『英語授業の「型」づくり』VII Activities(高校編)に基づく内容です。

### ③ 子どもに聞かせる音の大切さ、及び子どもが英語の音を作るときの指導について

5月21日(土) 13:30～15:30

講師：相田 眞喜子(田園調布雙葉小学校)・久埜 百合(中部学院大学)

子どもたちが英語を獲得するためには、指導者によるインプットが欠かせない。指導者は子どもが予想し理解できる内容を選んで話しかけ、子どもはそれに答えようとして「やり取り」が進んでいく。語りかけを続けて、教師と子どもが「やり取り」を発展させると、子どもは「ことばを使った!」と実感し、英語のルールにも気づくようになって習熟が深まる。指導者の語りかける「音」を真似て子どもが応答する「音」が、中学英語の基盤になるので、子どもに聞かせたい「音」のつくり方を参加者と試し、子どもに、その「音」の気づきを促す方法を考えたい。

### ④【型づくり】音読から話す活動へ 5月21日(土) 16:30～18:00

講師：淡路 佳昌(大東文化大学)

話す活動につながっていく効果的な音読のポイントは、ステップを踏んで無理なく積み上げていく練習方法と、音読に入る前の本文の導入方法にポイントがあります。この講座では、実際の中学校教材を例に取り、本文の導入と説明で内容理解を図り、それからどのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるかについてご紹介します。さらに、音読の成果を土台として、いかにして話す活動につなげていくかについて考えます。

## ⑤ 学びのユニバーサルデザインと多重知能理論を生かした英語授業を考える

講師：草間 浩一（武蔵高等学校中学校） 5月22日（日） 10:00～11:30

「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」では、学習者一人一人が違うことを前提に、個々の違いに合った学習が出来るような工夫を考えます。障害は学習者ではなくカリキュラムにあると捉え、解決策を考えます。学習者個々の違いを測る一つの手立てとして多重知能理論（MI）の考え方を取り入れます。本講座ではUDLの基本的理解から始め、MIと組み合わせると何が出来るのか、何が変わるのかを考えていきます。大修館書店『英語教育』2022年4月号に執筆した「アセスメントツールを学びの支援に生かす」で紹介した事柄にも触れ、UDLとMIの生かし方を考えていきます。

## ⑥ 「話すこと」と「読むこと」をつなぐ指導～読めるようになると、英語のルールが見えてくる

講師：久埜 百合（中部学院大学） 6月4日（土） 13:30～15:30

英語習得の入門期において、「やり取り」をしながら身につけた語・慣用句や文を読めるようになると、その後の学習を支える力となり、小中連携に果たす役割も大きい。「やり取り」でおこなう「聞いて話す」「音」の指導（5月21日講習会を参照）の間に、文字への気づきも徐々に促しておく、子どもたちは音声化できる語句や文を読めるようになり、「読むこと」と「書くこと」への関心が高まる。「読めて書ける」ようにする指導の素材を紹介し、指導の方法を実際に参加者と試しながら、「読むための教材」について考えたい。

## ⑦ 英語の発音と発音指導を見直す（1）ーリズムと音連結を中心にー 6月11日（土）

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授） 14:00～16:00

英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、2回に分けて開講します。第1回となる今回は、英語のリズム（強弱、特に弱形に注目）と単語間の音連結を中心に取り上げます。時間的な余裕があれば基本的なイントネーションについても触れる予定です。教材としては、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視したいと思います。

## ⑧ 英語の発音と発音指導を見直す（2）ー個々の音素を中心にー 6月18日（土）

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授） 14:00～16:00

第1回に引き続き、英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、第2回では、主に母音や子音など個々の音素を、指導の優先順位にも言及しながら取り上げます。あわせて、発音補助としてのカタカナ表記の活用にも触れたいと思います。教材としては、語、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視します。

## ⑨ 【型づくり】 中学・新教材の導入 7月23日（土） 10:00～11:30

講師：大内 由香里（東京都荒川区立第九中学校）

三人称単数現在形を例に、文法事項と教科書内容を英語で導入する授業をご紹介します。単元全体の指導計画の立て方、授業準備、導入に際しての留意点など、中学校の授業づくりの基本的な「型」を提案します。『英語授業の「型」づくり』第2章III-(1) Oral Introduction、V-(1) Explanationに基づく内容です。

## ⑩ 【型づくり】 中学・アクティビティ 7月23日（土） 13:00～14:30

講師：小菅 敦子（武蔵野大学他）

詳細は後日掲載します

## ⑪ オーラルメソッドによる CLIL 7月24日（日） 10:00～11:30

講師：山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校）

CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）は教育理念であり特定の教授法を持たないので、理念に賛同しても方法論を持たなければ実践は容易ではありません。本講座では語研の提唱するオーラルメソッドの指導技術によりCLILを実践する具体的な方法について提案します。

**⑫ PowerPoint 入門—授業で使ってみてみたいなあという方達に向けて**

7月24日(日)

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

13:00~15:00

PowerPoint を授業で使ってみてみたいけど、どうしたらいいのかわからない、という方を対象に、授業で使うための基本テクニックをお伝えします。合理的配慮にもつながるスライド作りの初歩講座です。あくまでも教員が授業のツールとして使う方法です。生徒が使うことは想定していません。Zoom の映像を見ながら同じ画面上で PowerPoint の操作をしてもらいつつ進めていく予定です。Zoom をタブレットで見ながら PC 上で PowerPoint が操作できる環境もお勧めです。Windows 版と Mac 版とでは操作に違いがあるので、お申し込みの際には備考欄にお使いの PC が Mac か Windows かをご記入ください。

**⑬ 英語の手書き文字の教え方 —小学校で・中学校で—**

7月25日(月) 18:00~20:00

講師：手島 良(武蔵高等学校中学校)

*We Can!* における手書き文字・印刷文字の「変革」を受けて、小・中学校の検定教科書でも、ついに「活字体」が消滅しました。この際、ぜひとも手書き文字の指導法も改革したいものです。その後の学習を支える手書き文字は、書きやすく読みやすいものでなくてはなりません。「Aa~Zz まで繰り返して書かせて終わり」というのは、指導の名に値しません。英国の小学校における文字指導の伝統に基づき、学習者に優しい文字指導法をご紹介します。

**⑭ フォニックス活用法 —単語の綴りの教え方—**

7月28日(木) 18:00~20:00

講師：手島 良(武蔵高等学校中学校)

英語の綴りと発音の間にある規則を適切に指導したいものです。ただ、その規則はかなり複雑で、一度教えれば身につく、というものではありません。日々の授業の中で、生徒に「またかあ〜」と思わず、しかし、しつこく何度もその規則に触れさせていくことが重要です。規則が定着するだけでなく、生徒が綴りを覚える負担が減り、発音も向上する—そんな良いことばかり(?)の指導法をご紹介します。

**⑮ 力のつく教科書本文の扱い方と音読再考**

7月30日(土) 10:00~11:00

講師：久保野 りえ(都留文科大学・筑波大学附属中学校非常勤講師)

中学高校を問わず、教科書の扱いは授業の大きな部分を占めるはずですが、そこで真に英語力をつけるために、どう教科書を活かせば良いか、具体的な教材を見ながらワークショップをしたいと思います。また、英語授業で必須のように思われている音読も再考し、より効果のある方法を考えてみたいと思います。

**⑯ 中学校：目的や使用場面を大切にした言語材料の導入から発表活動まで**

7月30日(土) 13:30~15:00

講師：栖原 昂(筑波大学附属中学校)

新しい文法や表現の「導入」の場面を見ると、日本語で「説明」をしてすぐにプラクティスに入ったり、英語でターゲットの文の使用例をいくつか聞かせるだけで、結局そのあとの「説明」がメインになってしまう、といった授業をよく見かけます。生徒が目的や使用場面に応じて、適切な表現を選択して使えるようになるためには、どうその表現と出会い、どのような練習をし、どのような活動を設定すればよいのかを一緒に考えていければと思います。

**⑰ 一人一台 iPad 環境を生かした英語授業を考える**

7月31日(日) 10:00~11:30

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

生徒一人一人が iPad などの端末を使用できる環境でどんなことができるかを考えます。教員一人が授業で使うのではなく、生徒がどのように使い、どのような活動ができるかに焦点を当てます。講師の勤務校では iPad を利用しているのでタイトルは iPad としてあります。他の端末でも考え方や方法論はそのまま応用できます。特定のアプリがないとできない活動も含まれます。現在は利用していなくても、今後の利用や環境整備、体制整備を考えている方にも参考になるはずです。

## ⑱ 意味を正しくとらえて優しく伝えよう

8月2日(火) 10:00~11:30

講師：砂谷 恒夫(東洋学園大学他非常勤講師)

「意味」とは単なる referent (指示物) ではなく construal (捉え方) ではないでしょうか。ある一匹の動物が dog でもあり、poodle でもあり、pet にもなります。weed という名の植物はなく、抜きたい草が weed です。言葉の意味についてじっくり考えて、教材作成や授業準備に生かしませんか。学習者にわかりやすい意味の伝え方についてもお話しします。教員、学生、一般、すべての方を歓迎します。

## ⑲ 題材内容を中心とした授業導入

8月20日(土) 10:00~11:30

講師：浅野 伸子(東京都立小山台高等学校)

授業で導入にかかる時間は全体の4分の1であっても、導入が成功すれば授業の8割は成功したと言っていいでしょう。導入部でいかに生徒を巻き込み、その時間に扱う教材を理解させ、後に应用到まで発展させるかをお見せします。取り扱うのは高校のコミュニケーション英語の色々なレベルの教科書です。もちろん Oral Introduction を用います。

## ⑳ 高校英語：教科書中心で4技能を伸ばす授業の進め方

8月20日(土) 13:00~14:30

講師：吉田 章人(日本女子大学附属高等学校)

授業を料理に例えると、教科書は食材、指導法は調理法のようなものです。高校英語の教科書を使って、生徒たちに美味しい料理を提供するにはどうすれば良いでしょうか。新科目「英語コミュニケーション I」の教科書を用いた4技能5領域の効果的な指導法について考えます。

## ㉑ 小学校英語教育で大切にしたいこと、基礎基本～語研ブックレット3『小学校英語1』から考える～

8月21日(日) 13:30~15:30

講師：永井 淳子(京都市大学付属小学校)・松原木乃実(聖マリア小学校)

2020年に外国語活動が小学校3・4年で必修化され、5・6年の外国語が教科化されて、今年で3年目に入りました。副教材『Let's Try!』や検定教科書を使いながら、現場では様々な試みがなされていますが、今一度、小学校の英語教育で何を大切にしていけばいいか、その基本とすべきことは何なのか、語研ブックレット3『小学校英語1』(2010年初版発行。語研第10(小学校英語教育)研究グループ編著)をひもときながら、一緒に考えてみたいと思います。小学校でこれから教えてみようと考えている方や学生の方の参加、大歓迎です。

※ 語研ブックレット3『小学校英語1』をお手元にご用意ください。

## ㉒ 【型づくり】高校・導入から活動へ

8月27日(土) 13:30~15:00

講師：矢田 理世(筑波大学附属高等学校)

高校の授業における様々な「発表活動」を具体的に紹介するとともに、これらの活動をゴールとして逆算して授業を組み立てることの大切さをお伝えします。具体的な指導手順や留意点、時間配分などを紹介しながら、授業構成のポイントを提案します。『英語授業の「型」づくり』VII Activities(高校編)に基づく内容です。(㉑と同じ内容です)

## ㉓ Google スライド で "show and tell" を楽しもう～Oral Introduction へのヒント～

8月28日(土) 13:00~15:00

講師：八宮 孝夫(筑波大学附属駒場中・高等学校)

新課程の *New Crown 3* に「おすすめの本を紹介しよう」という言語活動がありますが、あくまでも英語で紹介文を書く活動です。これを一歩進め、Google スライド(一種のPowerPoint)を用いて、好きな本をスクリーンに提示しながら作者や内容についても紹介する "Show and Tell" 活動を行いました。この実践を、具体例を踏まえて紹介します。また、この活動は、内容を視覚的に紹介するという点で Oral Introduction に通じるものがあるので、優れた Oral Introduction とは何かについても参加者の皆さんと考えます。

**㊥ 聞く・読む技能のジャンル準拠教授法**

9月11日(日) 10:00~11:30

講師：松沢 伸二(新潟大学)

昨年度は中学校の教科書が新しくなり、「読みの文章が長くなって指導が大変です」という声が先生方から寄せられました。今年度は高校の英語コミュニケーションIの教科書が改訂されました。同様の問題が生じているかもしれません。本講習では、テキストのジャンルの言語的特徴とテキストの体裁の言語的特徴を明示的に指導するジャンル準拠教授法で、長くなったテキストの聞く・読む技能を適切に指導し評価する方法を紹介します。

**㊦ 対面でもオンラインでもできる発音指導**

9月25日(日) 13:00~14:30

講師：静 哲人(大東文化大学)

新型コロナウイルスにより、現在授業では教員・生徒ともマスク着用が普通です。その状況でも効果的に発音指導を実施するためには、口が見えなくとも音声だけで瞬時にクオリティを判定する力が大切です。発音指導の心・技・体をおさえた上で、英語教員としての発音指導力を向上させるお手伝いをします。練習の題材にはスピーチと歌を用います。

**㊧ 題材内容を中心とした授業導入**

10月30日(土) 14:00~11:530

講師：浅野 伸子(東京都立小山台高等学校)

授業で導入にかける時間は全体の4分の1であっても、導入が成功すれば授業の8割は成功したと言っていいでしょう。導入部でいかに生徒を巻き込み、その時間に扱う教材を理解させ、後に应用到まで発展させるかをお見せします。取り扱うのは高校のコミュニケーション英語の色々なレベルの教科書です。もちろん Oral Introduction を用います。(㊥と同じ内容です。)

**㊨ 教科書内容を使ったディベートの授業**

12月4日(日) 10:00~11:30

講師：日高 由美子(東京都立立川国際中等教育学校)

現在勤務している学校には、海外経験のある生徒がたくさんいます。そんな生徒と一緒に授業を作っていくためには、教師の側もかなり周到に準備をしていく必要があります。具体的には、教科書の題材を実社会で起こっている問題と関連して考えさせることを意識しています。今回の講座では、教科書内容を使ったディベートの授業を紹介します。どのように題材内容を深く考えさせるか、思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫について話します。

**㊩ ここからはじめよう！ライティング指導**

12月4日(日) 13:30~15:00

講師：馬場 千秋(帝京科学大学)

「ライティング指導は難しい」「授業中に扱う時間も取れない」など、ライティング指導に消極的な方は多いと思います。本講座では、日常の授業の中で検定教科書を用いて、授業のまとめとして行う指導、投げ込み教材等を使った指導、帯活動として取り入れていく指導などを紹介します。また、フィードバック方法と評価方法についても具体例を提示します。

**㊪ 良い授業ができる「自律的指導者」とは～指導を支える6つのポイント～ 1月15日(日)**

講師：入江 潤(元明星学園小学校副校長/educore 教育コーディネーター) 10:00~11:30

「魅力的な授業をする先生」「子どもや保護者に信頼される先生」って、子どもからどんな反応が返ってきても成長に繋げる対応ができたり、どんなハプニングがあっても慌てずに次の言動が選択できたりしますよね。何よりも、先生自身がとても楽しそうです。なぜでしょう。英語教育においては、何を手に入れればそんな先生になれるのでしょうか。「自律的指導者」の6つのポイントで、英語教師としての「土台」を見直してみませんか。

**③⑩ 【型づくり】 英語授業「型」づくりの基礎・基本【総論】** 1月21日(土) 10:00~11:30

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、英語授業の基礎・基本について考えます。「型」づくりの総論・概論にあたる講座です。語研が提唱するOral Introductionを核とした授業の「型」の裏にある「ところ」（考え方や発想）にも焦点を当てて、議論を進める予定です。（①と同じ内容です。）

**③⑪ 【型づくり】 中学・新教材の導入** 1月22日(土) 10:00~11:30

講師：大内 由香里（東京都荒川区立第九中学校）

三人称単数現在形を例に、文法事項と教科書内容を英語で導入する授業をご紹介します。単元全体の指導計画の立て方、授業準備、導入に際しての留意点など、中学校の授業づくりの基本的な「型」を提案します。『英語授業の「型」づくり』第2章III-(1) Oral Introduction、V-(1) Explanationに基づく内容です。（⑨と同じ内容です。）

**③⑫ 【型づくり】 中学・アクティビティ** 1月22日(土) 13:00~14:30

講師：小菅 敦子（武蔵野大学他）

詳細は後日掲載します

**③⑬ 教科書から対話を導き出す発問** 1月29日(日) 10:00~11:30

講師：杉内 光成（獨協埼玉中学高等学校）

新任の教員や学生など経験の浅い方を対象に、検定教科書を使った授業における発問について考える講座です。生徒の学びに向かう力を育成するために、授業中の発問は欠かせません。しかし、ただ生徒に質問を投げかけ、話をさせたりすればいいわけではありません。この講座では、発問の種類や授業に組み込むタイミングとその役割を紹介しながら、発問を駆使した指導のポイントを提案します。

**③⑭ 英語の発音と発音指導を見直す（1）—リズムと音連結を中心に—** 2月5日(日)

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

10:00~12:00

英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、2回に分けて開講します。第1回となる今回は、英語のリズム（強弱、特に弱形に注目）と単語間の音連結を中心に取り上げます。時間的な余裕があれば基本的なイントネーションについても触れる予定です。教材としては、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視したいと思います。（③と同じ内容です。）

**③⑮ 英語の発音と発音指導を見直す（2）—個々の音素を中心に—** 2月12日(日)

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

10:00~12:00

第1回に引き続き、英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、第2回では、主に母音や子音など個々の音素を、指導の優先順位にも言及しながら取り上げます。あわせて、発音補助としてのカタカナ表記の活用にも触れたいと思います。教材としては、語、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視します。（④と同じ内容です。）

**③⑯ 発表活動のための教科書導入方法** 2月26日(日) 10:00~11:30

講師：曾根 典夫（筑波大学附属高等学校）

生徒を惹きつけるための導入方法にはどのようなものがあるのか。話す（発表・やり取り）活動を行うための入り口となる本文導入の仕方とその後の展開を、いくつかの例を挙げて提案します。【対象：学生・中・高教員】

**③⑦ 中学校の先生に知ってほしい小学校英語**

**3月18日(土) 13:00~15:00**

講師：粕谷 恭子（東京学芸大学教職大学院）

中学校の先生方にぜひとも知っておいていただきたい小学校英語の実際についてお話いたします。10年間の英語教育の中で、それぞれの校種が果たす役割について考える機会になればと思います。

**③⑧ 導入（題材内容中心）**

**3月26日(日) 10:00~11:30**

講師：山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校）

Oral Introduction により題材内容を導入した後、生徒の習熟度に応じた方法で、板書内容を使って生徒に Story Retelling を行わせる指導手順をご紹介します。併せて、Retelling にとどまらず、題材内容に関して生徒に意見を言わせるためのオーラルワークを提案します。